

# みんなの議会 おおさと

NO.211

令和5年8月1日

定例会

12月 3月

9月 6月

町花：つつじ

ヨガとは呼吸

(おおさとヨガサークル)



- P. 2 補正予算  
(商品券発行)
- P. 5 6名が町政を質す  
(一般質問)
- P.11 第2回臨時会  
(物価高騰対策)
- P.12 議会報告会
- P.15 追跡リポート



# 1人1万円 生活応援商品券発行

## その他の補正予算

### 一般会計

- ・秋まつり花火打ち上げ費用 … 250万円
- ・みやぎの水田農業改革支援事業補助金  
(水田営農条件整備) …… 441万円
- ・庁舎建設に係る委託料 …… 591万円
- ・高齢者シェルター事業 …… 62万円
- ・小学校遊具修繕工事 …… 174万円
- ・小学校校庭階段修繕工事 …… 253万円

### 介護保険特別会計

- ・いきいき百歳体操講師謝金 …… 24万円

### 下水道事業特別会計

- ・吉田川流域下水道事業全体計画見直し事業  
…… 550万円



3912  
万円

今回発行する1人当たり5000円の生活応援商品券は、新型コロナ対応地方創生臨時交付金を活用した物価高騰対策です。

3月定例会で可決した5000円と今回の5000円を合わせて1万円となり、8月に発送予定。利用期間は9月から12月まで。

▲道の駅おおさと

6月定例会が6月6～9日に開催され、一般会計は2億6884万9000円を追加し、歳入歳出それぞれ総額58億4384万9000円となりました。  
介護保険特別会計は24万円を追加し、総額11億3228万9000円。下水道事業特別会計は550万円を追加し、総額2億3362万1000円となりました。

1664  
万円

## 新型コロナワクチン接種



**問** コロナ5類移行後、個人負担はどうなっていくのか。

**答** 9月以降の秋開始接種についても、全額公費負担。来年以降については未定。

2582  
万円

## 価格高騰支援給付金事業

対象は、令和5年住民税非課税世帯と家計急変世帯で、支給額は3万円。

**問** 申請は必要か。

**答** 住民税非課税世帯は町が把握し確認書を送付し返送してもらう形で申請に代える。家計急変世帯は直接申請していただく。

792  
万円

## 上郷・吉ヶ沢地区水路のり面 公共施設災害復旧工事

**問** なぜこんなに復旧に時間がかかっているのか。

**答** 農地に係る部分は揚水時期もあり、乗り入れ工事などの整備に時間を要している。12月完了を目指して工事を進めている。

1970  
万円

## 交流人口促進

### サテライトオフィス 活用促進等

縁の郷



**問** 内容は。

**答** 県内外から事業者の利用促進を図るためにPR動画やホームページを作成。情報を発信したり、企業向けの説明会を開催するため、委託により実施するもの。

9312  
万円

## 木ノ崎・中村・羽生地区 急傾斜地

### 緊急自然災害防止対策事業

木ノ崎地区認定こども園下



**問** なぜ県の事業に該当しなかったのか。

**答** 保全民家が5戸以上ないことで、県の事業の要件に該当しなかった。





# 空き家対策に全力を

## 民間企業と連携(町長)

**問** 空き家はいずれ老朽化し、どうにもならない状況下になることは必須。町として早急に対応すべき時期にきている。空き家バンクの成果について町の判断は。

**答 町長** 平成28年度から空き家バンクを開設、これまで20件の実績があった。民間企業と連携し、空き家対策していく。

**問** 空き家バンク設立から7年経過している。成果としてそれだけか。現在177軒の空き家がある。しかし、空き家バンクの登録はゼロである。なぜか。

**答 まちづくり政策課長** 今後、台帳を精査し、所有者に対しダイレクトメール、相談窓口の啓発など新たな取り組みをしていきたい。

いし がき まさ ひろ  
石垣 正博 議員

## 議案採決結果一覧表

分類	議案名(略称)	採決結果	吉田 耕大	佐藤 牧	赤間 茂幸	大友 三男	佐藤千加雄	田中みつ子	熱海 文義	石川 壽和	和賀 直義	高橋 重信	石垣 正博	千葉 勇治	若生 寛	石川 良彦
報告	報告第5～7号	報告のみ														
議案	議案第46号 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第47号 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第48号 国民健康保険条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	議案第49号 一般会計(第2号) 58億4385万円(2億6885万円↑)	可	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第50号 特別会計 介護保険(第1号) 11億3229万円(24万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第51号 特別会計 下水道事業(第1号) 2億3362万円(550万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(↑)は増額、(↓)は減額 ※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。  
可:可決 否:否決 ○:賛成 ●:反対 退:退席 欠:欠席

**問** 今後空き家は増える。節目目の対応として、長期計画を立てるべきではないか。

**答 まちづくり政策課長** どのようにして対策していくか、大きな方針を考えていく。

**問** 空き家にならないような予防策として、条例を作つてはどうか。

**答 町長** どのような内容がいいのか勉強していきたい。議会改選後、議員発議などとしても取り組んでもらいたい。

## 竹林の環境整備を

**問** 竹林が荒れて放置されているので、昔のように竹林を生業として生かされるよう指導してはどうか。

**答 町長** 輸出品に比べ経済的に不利。生業としての指導は難しいと考える。

**問** 町には41・75ヘクタールの竹林がある。大地の栄養を吸収した、大郷産タケノコを利用してはどうか。

**答 農政商工課長** 地場産品活用を目的とした加工団体の活用をしながら、町の活性化につながる商品開発ができればと思っている。



▲タケノコを大郷特産に

**問** 過疎債を利用し、地域おこし協力隊の力と、集落の皆さんの理解と協力を得て、竹林の整備をすべきと思うが。

**答 まちづくり政策課長** 竹林の状況、地場産品の商品を含めて、地域おこし協力隊の募集が可能であれば検討する。

**問** 竹林は大きな可能性を秘めている。竹林を里山の財源として循環的な利用方法を考え、高齢者の副収入になるような制度を考えては。

**答 町長** 資源として位置付けられるほどの量があるのか検討していく。

## 議会のココに注目!!

## 初議会

議会議員の任期満了に伴い、議員選挙が実施されます。新議員として、当選された方々で正副議長及び各常任委員長等を決定する重要な議会。  
※今年は、9月定例会前に開催予定

## 次ページから一般質問

# ただ 6名が町政を質す!







# 大松沢の土地利用計画は

## 農業生産地域としての地域づくり(町長)

ひろし 議員  
若生 町長

**問** ※都市計画マスタープランで大松沢の土地利用について、農業生産地域としているが今後の方向性は。

**答** 町長 優良農地であり、農業生産地域としての地域づくりの方針に変わりはない。

**問** マスタープランの内容に沿った動きをしてほしいが。

**答** まちづくり政策課長 大松沢地域については、農業を核とする新たな拠点形成に向けた地域づくりという内容になっている。今後も災害を想定した上での企業誘致を考える。

**問** 豪雨により被災した農業法人2社の状況は。

**答** 町長 補助金の精算に関して、国との調整が確定せず再建方針などが決まっていない。関係機関と情報共有し調整するよう努める。

### 災害時相互援助協定

**問** 2法人と地権者との契約関係の確認が必要では。

**答** 農政商工課長 誠意ある対応で関係機関と調整を図っていききたい。

**問** 協定を結んでいる北海道清水町、山形県舟形町、東京都青梅市との交流状況は。

**答** 町長 以前は清水町、舟形町と小学生の交流があったが現在は行っていない。青梅市とは交流はない。東日本大震災や東日本台風において本町が被災した際は、物資などの支援をいただいている。

**問** 今後の交流計画は。

**答** 町長 具体的なものは決まっていない。それぞれの市町と検討していきたい。

**問** 小学生の交流がなくなった理由は。

**答** 総務課長 清水町は移動距離と経費の関係で途絶えている。

**問** 社会教育課長 舟形町とはコロナ禍と移動距離により中止となった。現在、児童の体験学習を「松島自然の家」で実施している。



# 事業の賛否を問う住民投票を

## 中途半端なことはやらない(町長)



おとむ 議員  
大友 三男 町長

**問** かわまちづくり事業について、現在まで協議会やワーキンググループでどのような意見が出たのか。

**答** 町長 パークゴルフ場や子どものための広場が欲しいという意見や、町の財政状況も踏まえ慎重に検討したほうがいいという意見があった。

**問** 協議会、政策審議会など合計95名からの反対意見はないとのことだが、有権者の1・4%の意見を、全町民の意見とするのは無理があるのでは。

**答** 町長 我々は町民の意見をどう引き上げるか努力をしている。

**問** 多額の事業費を投資することになる。総事業費に対する費用対効果は。

**答** 交流人口はイベントなどを開催し、年間25万6300人が目標。今後社会実験の結果を検討していく。

### スマートスポーツパーク(農業×スポーツ)事業

**問** 水田の買い上げから整備まで、事業の提案者であるスポーツX株式会社が実施すべきでは。

**答** 町長 民間企業と手を組み、一体的に行うことでより大きな相乗効果を生み出す可能性があるため、慎重に調査を実施しているところである。効果的な用地の取得方法なども検討していく。

**問** 十数億円が必要と思われるかわまちづくり事業、さらにスポーツX事業に不信感を抱いている町民の方々から意見が寄せられている。

**答** 町長 町をどうするか瀬戸際に立っている。そんな中途半端なことはやらない。

**問** 全町民の意思を確認するため、8月の議員選挙と同時に、事業の賛否を問う住民投票を行うべきではないか。



▲すでに5月6月と2回浸水した粕川河川敷

**問** 55ヘクタールの優良水田を潰すのではなく、大松沢地区の活性化を図るため、大松沢地区にある遊休農地に、スポーツX関係や農業団地を造ってはどうか。

**答** 復興推進課長 初めて大松沢地区にこの話を伺い、議論の課題に含めたい。

**問** 3月10日の議員全員協議会で「やるという考えだから戻るとは前提にない。トップがやれと言ってるんだから、責任取る。」との町長答弁があったが、何かあったら責任を取ると理解していいのか。

**答** 町長 提案する以上、全て責任を持つてやる。





# 熱中症対策の推進を

## 予防対策の周知と注意喚起を促す(町長)

わが 直義 議員  
和賀

**問** 熱中症死者数は年間1000人を超える年もあり、自然災害による死者数を上回っている。熱中症は、適切な予防や対処が実施されれば、死亡や重症化を防ぐことができる。

**答** 高齢者の熱中症に対する予防への意識を醸成するための取り組みは、

**答** 町長 防災無線や広報、健康事業などにおいて、予防対策の周知と注意喚起を促している。

**問** 高齢者世帯などのエアコン設置・電気代の助成、エアコンの整備・点検、「※クーリングシエーター」の整備の考えは。

**答** 町長 価格高騰給付金、生活応援商品券などを活用していただきたい。クーリングシエーターは、今後の情報を注視していく。



ちば 勇治 議員  
千葉

# 農用地除外要件に該当するか

## 県の担当部署と協議中(町長)

**問** 「スマートスポーツパーク構想」の対象地が農用地区域からの除外要件に該当するのかが、農業を基幹産業としている町の考えは。

**答** 町長 東日本台風災害で失われた大規模農業法人による雇用機会の創出も念頭に調査している。農地転用手法などについて県の担当部署と協議中。

**問** 町長は町内の各地でこの構想について話されているが、その位置付けは。

**答** 町長 国では農業法人が現在地から今回の構想地に移すことにより、これまでの国からの補助金の減免措置を考慮しており、「スポーツX社」と農業法人の関係さえ壊れなければ大丈夫と思う。

**問** 被災した2農業法人の動向がはっきりしない。いつ頃まで明らかになるのか。

### 一般質問

**答** 農政商工課長 精算等が完全に終わっていないのではつきりと言えない段階ではない。

**問** 地権者への説明や同意が何より優先されるものと考えますがその説明がいまだにない。どうなっているのか。

**答** 復興推進課長 町として事業が実行できると判断した段階で地権者に接したいと考えている。

**問** スポーツX社の信用調査をするという約束だったので。

**答** 町長 ベンチャー企業として立ち上げ、スポーツX社は3年後に東京株式市場に上場準備をしていることや、何百社というオーナー会社が支援しているという話を、ある会社から聞いた。そういうことが一番の信用になると考える。

### ガバメントクラウド

**問** ※ガバメントクラウドへの移行は、地方自治の侵害につながりかねないと考えますが。

**答** 町長 全国どこでも同様の行政サービスが受けられるようになる。一定の行政サー

### 行政のデジタル化

**問** デジタル技術を活用しての住民同士の情報交換の場の創設、電子回覧板の利用など、デジタル技術を活用しての地域コミュニティの構築についてどのように考え、具体的な取り組みを進めているのか。

**答** 町長 マイナポータルを使用して、オンラインによる転出届、転入(転居)予約ができる。4月からは、子育て、介護、

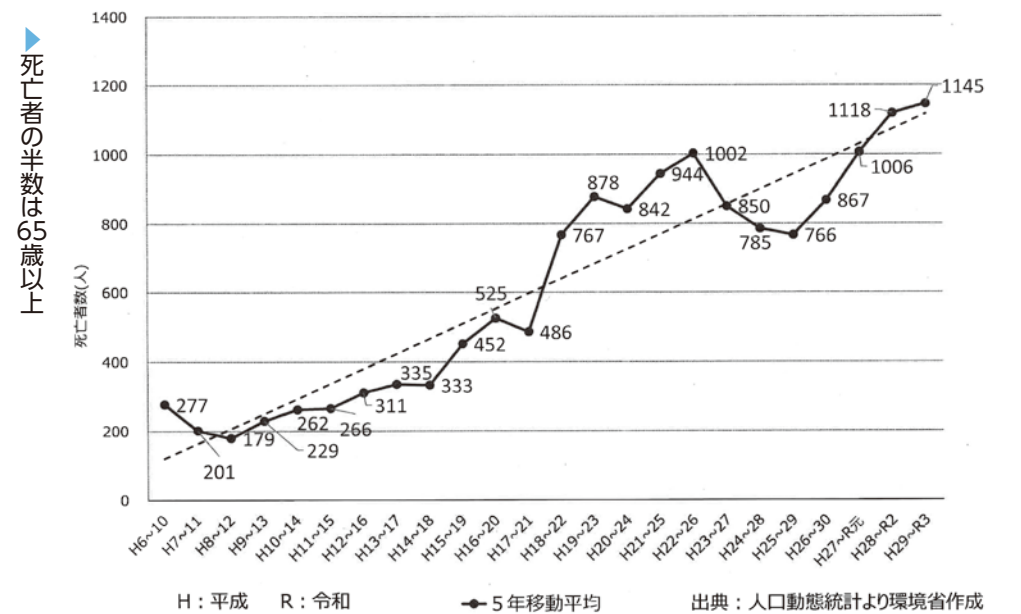
### 一般質問

**問** 学校における、子どもの熱中症防止、通学時の対策の取り組みは。

**答** 教育長 屋内においては積極的なエアコンの使用、熱中症指数モニターを職員室に表示し、教職員へ注意喚起をしている。

通学時の予防対策は児童生徒への注意・指導、保護者の方へは学校だよりや保健だよりで十分な睡眠や食事をとることの周知、水筒の持参を呼びかけている。熱中症警戒情報が発令された場合は屋外での活動や授業の中止の判断を迅速に行う。

### 熱中症死亡者(5年移動平均)の推移



罹災証明などの手続きもスマートフォン等からオンラインでできる。

今後は、防災無線などに代わるタブレットやスマートフォンアプリなどの導入などができれば、行政からの情報発信

(日々のお知らせ、防災情報などが、町内にいなくても受け取れる仕組みづくりが可能となる。また高齢者、子どもの見守りなどの強化も目指している。

※熱中症予防を目的とした休憩所



▲被災した農業法人の動向は

ビスについては向上すると考えられ、またコストメリットなども期待できることから、より特色のある行政サービスが展開できればと考える。

**問** 国に黙って従うようになり、地方自治体の本来の姿がなくなってしまう恐れがあるのでは。

**答** 町長 国の傘下にある自治体が、国の指導を拒否する勇気は私にはない。

**問** 女性と男性が平等な待遇のもと、管理職の登用についても計画的に進めていくとのことだったが。

**答** 町長 令和5年4月1日現在の課長補佐の職員を見ると、22名中13名が女性で、今後女性管理職も計画的に進めていくものと考えている。

※国の全ての行政機関や地方自治体が共同で行政システムをクラウドサービスとして利用できるようにした「17基盤」のこと。



# 非課税世帯など 子ども1人に5万円の支援

【一般会計補正予算(第1号)】  
物価高騰に伴い低所得者世帯などの子ども1人に5万円を早急に給付。

**問 対象者は。**  
**答** 18歳以下で住民税非課税世帯83人、家計急変世帯7人を見込んでいる。

【承認第1号(専決第1号)】  
令和4年度一般会計補正予算(第13号)における繰越明許費の追加2件、変更3件、道路維持管理事業(町道中村要害線)

**問 なぜ長引いたのか。**  
**答** 地権者との協議の必要が発生した。今後は施工管理を徹底する。

**問 延びた理由は。**  
**答** 文化財に指定されていることで県との協議が長引いた。

※ほかに専決処分の報告が3件あった。

## 議案審議結果一覧表

分類	議案名(略称)	採決結果	石川良彦	若生寛	千葉勇治	石垣正博	高橋重信	和賀直義	石川壽和	熱海文義	田中みつ子	佐藤千加雄	大友三男	赤間茂幸	佐藤牧	吉田耕大
第2回臨時会	承認第1号 専決処分の承認を求めることについて	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	報告第2~4号	報告のみ														
	議案第45号 一般会計補正予算(第1号)55億7500万円(500万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(↑)は増額、(↓)は減額  
可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 継続：継続審査 退：退席 欠：欠席  
※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。

## 議会の主な動き(4/1~6/30)

月日	用務	月日	用務
4/3	広報広聴常任委員会	5/17	黒川地方町村議会連絡協議会役員会(大和町)
4/6	広報広聴常任委員会視察(仙台市)	5/19	宮城黒川地方町村議会議長会臨時総会(松島町)
4/8	すくすくゆめの郷子ども園入園式	5/23	全国町村議会議長・副議長研修会(東京都)
4/10	大郷中学校入学式	5/23	くろかわ商工会令和5年度通常総代会(大和町)
4/11	大郷小学校入学式	5/24	議会運営委員会
4/16	第6師団創隊61周年・神町駐屯地創立67周年記念行事(山形県東根市)	5/25	議員全員協議会・広報広聴常任委員会
4/17	広報広聴常任委員会	5/26	宮城県町村議会議長会臨時総会(仙台市)
4/18	奨学資金貸与選考委員会	5/29	黒川地域行政事務組合議会臨時会(大和町)
4/20	松島町議会デジタル推進特別委員会第二小委員会来町	5/29	江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期成同盟会総会(大崎市)
4/21	総務産業常任委員会	5/30	議会運営委員会
4/25	宮城黒川地方町村議会議長会正副会長会議・定例会議(仙台市)	6/6~9	2023年原水爆禁止国民平和実行委員会要請に 第2回(6月)定例会
4/26	議員全員協議会・教育民生常任委員会	6/11	大郷町消防団消防演習
4/28	春の交通安全運動拡大会議	6/16	村上農園宮城大郷生産センター竣工式
5/9	第2回臨時会 議員全員協議会	6/16	北方領土返還要求県民フォーラム及び宮城県民会議総会(仙台市)
5/11	春の交通安全運動開始式	6/21	広報広聴常任委員会
5/13	議会報告会(大松沢社会教育センター・ふれあいセンター21)	6/23	黒川地方町村議会連絡協議会総会(大和町)
5/14	議会報告会(中柏川分館・中村分館)	6/27	議会運営委員会
5/16	宮城県町村議会議長会正副会長会議・監事合同会議(仙台市)	6/28~30	宮城黒川地方町村議会議長会視察研修(香川県)

## 次回 定例会

9月13日(水)から9月29日(金)まで午前10時~

ライブ中継と録画を動画サイト「YouTube(ユーチューブ)」にて配信しています。右記のQRコードよりご覧いただけます。



## 太陽光設置に関するトラブルは

### 都度対応するよう指導(町長)



たかはし しげのぶ 議長  
高橋 重信

**問** 太陽光発電設置は平地や山間地の斜面に大規模なパネルが見受けられる。設置割合は主要国では最大であり、平地面積ではドイツの2倍と断トツ1位である。6月から電気料金も大幅に値上がりする。近隣住民とのトラブルはあるのか。

**答 町長** 大雨による土砂流出などの連絡があった際には事業者と連絡し、都度対応するよう指導している。

**問** 太陽光発電施設の設置箇所は。

**答** まちづくり政策課長 開発行為による届け出分は平成26年以降121件、面積にして304ヘクタール。

**問** パネル設置者、販売業者、太陽光発電メーカーが倒産した場合はメンテナンスや修理の対応にいろいろ問題もあるのか、町として業者と常に連絡できるように対応していただきたい。

**答** まちづくり政策課長 できる限りパトロールや、機会があれば、確認できればと思っっている。

**問** 乱開発やトラブル、また業者の倒産時には、パネルの撤去、用地の現状復旧工事などの対策、対応、対処できる費用として預託金制度を行う条例が必要では。

**問** パネルや蓄電池には鉛、セレン、カドミウムなどの有害物質が含まれている。撤去工事や廃棄の経費は誰が持つのか。

**答** 町長 発電事業者の責任で行うことが基本だと思っっているが、事業者と地権者との間で交わされる契約書などで、撤去や処分費用をどちらが負担するか取り決める場合もある。

**答** まちづくり政策課長 発電設備などの設置から運営管理は事業者の責務と考えている。町が預託金制度を実施することは考えていない。



▲増加する太陽光発電施設



# 共に考えましょう

# 大郷の未来を!



▲中粕川分館



▲ふれあいセンター 21

**4年ぶりに議会報告会を開催（5月13日・14日）**  
コロナ禍により中止していた議会報告会を4か所で開催し、56件の要望や意見がありました。今後の町政や議会活動に反映するよう努力いたします。

## 意見・要望

**問** なぜ過疎指定になったのか。

**答** 過去20年間で23%以上の人口減少となったためです。

**問** スマートスポーツパーク構想では、優良な農地をなぜサッカー場にするのか。

**答** 農地での収益を考え、町にとっての効果が出るのか調査を行うことになっていきます。

**問** かまちづくり事業での維持管理や今後の方針は。

**答** 議会では、今後広く町民の意見を聞きながら、維持管理費を含め慎重に進めていくよう提言しています。

**問** 川内地区以外の新たな工業団地の考えは。

**答** 企業誘致の考えはありますが、思うように進んで

いないのが現状です。工業団地造成の考えは、現在ありません。

**問** 町の将来のためにも、スマートスポーツパーク構想を進めてほしい。

**答** 町の活性化につながるよう、調査を進めているところです。

**問** 住民バスを土日運行してほしい。

**答** 議会からも要望していますが、数年前に試行運転を実施しましたが、費用対効果など検討した結果、見送りとなっています。

**問** 空き家対策をしっかりと考えてほしい。

**答** 現在、空き家対策の事業者と話し合っていて、今後進むと考えます。

## 町からの回答

**問** 大郷町総合計画は最上位計画であるので、しっかり見直しを行った上での計画策定、各種事業を進めてほしい。

**答** 現計画は令和6年までとなっており、次期計画の策定に向け、情勢の変化に合わせてまちづくりの方針・計画の策定と事業の実施を考えています。

**問** 水道料金が低い。見直してほしい。

**答** 人口減少や施設の老朽化などに伴う維持・更新費用が増加する見込みです。今後、※使用料の適正化を図り、料金制度の在り方を検討していきます。  
※少ない使用水量に応じた料金体系に変更することも含む。

**問** ふるさと納税のパンプレットを作成し、町外の大郷町出身者に配布し、寄付金を増やす努力をしてほしい。

**答** パンプレットについては現在作成中で、道の駅等に設置予定です。今後はこのパンプレットを活用し、ふるさと納税の増額に努めていきたいと考えています。

**問** 縁の郷のテレワーク整備費1億円はあまりにも高額。本町の移住・定住に結びつくのか。

**答** 宿泊棟・野外交流施設・歴史資料館を改修するため必要な経費です。県内外の企業就労者が地元企業と連携することで移住のきっかけとなります。

**問** 高齢者などに対する宅配事業などの支援策を考えてほしい。

**答** 「ふれあい号」や週3回の配食サービスが利用できます。

生活必需品の買い物代行など可能となる場合がありますので、ご相談ください。

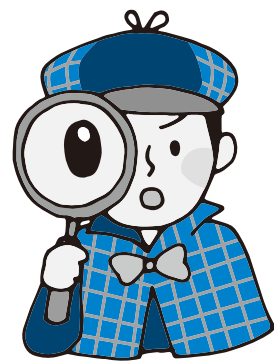
**問** 廃虚となっている空き家の対策を。

**答** 町の空き家対策としての取り組み方針「空き家対策計画」を策定し、課題解決に努めていきます。

**問** 今後の過疎対策について町民全体に説明してほしい。

**答** 地区懇談会など地域の皆さんにご説明できる機会に町の方針を示していきたいと考えています。





その後どうなった…

第87回

# 追跡 Tracking Report レポート



## 交通安全対策を

### 【これまでの意見・提言等】

- ・令和3年12月定例会総務産業常任委員会報告書より
- ・令和4年3月定例会予算審査特別委員会意見提言より

### 【総務課】

交通安全啓蒙看板の更新など順次対応してまいります。また、区画線などについては、見えにくくなった停止線などの再設置により、事故防止に努めてまいります。  
(議会広報208号追跡レポートより)

## その後の対応と今後の計画

令和4年度において、交通安全啓蒙看板の設置(更新)は1か所、カーブミラーの設置は3か所行いました。また、昨年12月に発生した交通事故当該箇所に交通安全対策を行いました。今後も各団体と協議をしながら交通安全対策に努めてまいります。 総務課

令和4年度において、町道の区画線等の再整備を8路線、約10km行いました。今後も道路パトロールを行い、経年劣化により見えにくくなった箇所については、早急に再整備を行ってまいります。 地域整備課



整備された区画線

## 無形文化財の伝承を

### 【これまでの意見・提言等】

学校教育の一環として無形文化財の伝承を取り入れては。

### 【学校教育課】

羽生田植踊保存会の指導を受け、小学3年生を対象に年間10時間くらい、総合学習の中で6月からスタートしたい。  
(議会広報210号徹底検証より)

## その後の対応と今後の計画

羽生田植踊について、令和5年6月19日に大郷小学校にて初回の練習を行いました。小学3年生を対象に、田植踊についての説明や羽生田植踊保存会による実演披露のち、踊りの基本的な練習を行いました。

今年度を児童たちの田植踊を知ってもらうきっかけづくりの年とし、練習を重ねるなかで、小学校や保存会と調整をしながら、今後披露の場の確保や継続していく事業となるよう努めてまいります。

社会教育課



▲時代を超えて伝えたい(羽生田植踊)

# 教育民生

4/26

## 常任委員会

### 学校の安全対策を



▲児童生徒の安全安心を

### 【調査の概要】

小・中学校を訪問し、教育長、学校教育課長、校長等より説明を受け調査した。

## 意見

1. 不審者侵入の防止対策は防犯カメラの設置、マニュアルの策定、不審者侵入想定訓練、校内巡視を実施しているとのことであった。今後も引き続き防犯カメラの充足や、行政、警察などと連携し実践的な不審者進入想定訓練について検討されたい。
2. 登下校時、交通事故や不審者からの被害に遭わないため、行政指導のもと、町民の協力を得ての「見守り隊」の設置や、不審者の見極めは大変に難しいので、徒歩や自転車通学路の見えにくい場所を調査しその安全対策に努められたい。
3. 学校施設の点検は子どもたちの目線、プロの目線も組み入れることが大切と考え、行政と学校が連携して点検の充実を図り、児童・生徒の安全・安心につなげられたい。

次回は

## 「認定こども園の運営状況について」

を調査します。

# 総務産業

4/21

## 常任委員会

### 特産品開発を



▲早期復旧した(有)マルセンファーム

### 【調査の概要】

大崎市鹿島台(有)マルセンファーム、大郷町大松沢(株)村上農園において、農業経営の方針など農業振興に関して説明を受け調査した。

(有)マルセンファームは、土耕栽培でトマト・ホウレンソウ・菊などを栽培し、特産品開発と6次産業も展開。また水田の経営を行って、本町道の駅にも出荷している。

(株)村上農園は、豆苗・スプラウトなどの発芽野菜や高成分野菜、マイクロハーブを生産・販売。現在、新工場(オートメーションシステム)を建設中で工場内の機械の試運転また出荷体制の整備を行っている。

## 意見

1. 生産者に寄り添った支援の在り方、農業所得の向上の施策、補助制度の拡充を検討されたい。
2. 特産物・特産品開発と6次産業の推進を図られたい。
3. 農業と農業以外の土地利用との調整を図り、今後とも長期に渡って総合的に農業の振興を図られたい。
4. 就業先としての農業の確立を図られたい。

次回は

## 「かわまちづくりについて」

を調査します。

委員会



# おおさとヨガサークル



癒しの音楽を聴きながら、心地よく体をほぐせてリフレッシュできる場所です。

## どんなところが楽しいですか

- ・運動不足と筋力低下を感じ、入会しました。
- ・体が硬いので、柔らかくなりたかったから。

## 始めたきっかけは

ゆったりとした深い呼吸により、心身のバランスが整うことです。

## ヨガの魅力は

今年で15年目を迎え、会員数は10名で、9名が町内の人です。

動しています。

指導者・永塚いづみさん（大崎市在住）の指導のもと、月3回、毎週月曜日に文化会館で活動しています。

## チームの紹介



代表  
後藤 直子さん  
(山崎)

## 今後の目標は

会員の拡大と、一人一人がよりよい快適な日常が送れるよう、正しい健康状況を提供し、運動の大切さを広めていくことです。



## ぜひ皆さんも一緒に



よりよい広報紙を  
今期広報委員での最後の広報をお届けしました。メンバー交代もありましたが、議論を尽くし、よりよい広報を目指してまいりました。

民の皆さまのおかげと心から感謝しております。短い間でしたが真摯に向き合ってください。本当にありがとうございました。

次号は改選後となりますが、どうかこれからも議会広報をご一緒に育てていただけましたら幸いです。

佐藤 牧



## 視察を受け入れました 4/26

### 松島町議会 デジタル推進特別委員会第二小委員会



#### 視察内容

議会インターネット配信について

#### 広報広聴 常任委員会

委員長 佐藤 牧  
副委員長 吉田 耕 大  
委員 石垣 正 博  
熱海 文 義  
和賀 直 義  
若生 寛

